

## 2月の銅&アルミスクラップ市況及び3月の見通し



▲橋本金属(アルミ)の  
橋本健一郎氏

一郎専務の寄稿レポートに若干の修正を加えたものである。

### ■銅スクラップは中国向けが増加する見通し

2月前半は第4四半期の米GDPが前年比で5.7%プラスと好調な滑り出しどとになった。しかし、中国の金融引き締めの継続、バラつきのある米経済指標や、ギリシャへのEUの対応から一喜一憂が続く。後半はEC財務相会議でギリシャ問題への対応策が出たことや旧正月明けの中国需要期待から急騰する場面もあったが、休み明けの上海銅が期待外れだったことから失望売りが加速した。銅建値は72万円と月初から6万円急騰したが、3月のスタート建値は68万円となった。2月は銅スクラップも4~5万円程大幅に上昇した。

1月の経済指標では、自動車生産台数(日本自動車工業会発表)が、前月比4.4%減の75万3,773台となった。また国土交通省発表の新設住宅着工戸数は、前月比6.3%減の6万4,951戸数であった。貿易関連指標(財務省貿易統計)では、輸出が電気銅で前月比20.9%増の4万5,597トン、スクラップは前月比10.2%減の3万459トンであった。輸入では電気銅が前月比8.7%増の2,769トン、スクラップが前月比25.6%減の5,591トンとなった。

国内の指標では、1月の伸銅品生産速報(日本伸銅協会発表)が前月比0.3%減の6万7,300トン、電線出荷速報(日本電線工業会発表)が前月比3.4%減の5万4,000トンであった。1月の伸銅品生産、自動車生産とも季節要因から前月比でマイナスとなつたが、前年同期比率との比較でともに約10%と実質的な改善は現在も続いている。ただ、内需による大幅な改善は期待できない。銅原料に関しては中国需要がまだ続いている、銅原料全体では輸出増、輸入減が続くと思われる。

また、絶対的な需要はハーフエコノミーから確実に8割経済へ移行しており、国内の在庫が潤沢とはいえない中、決算期の3月を狙って中国への輸出が再開す

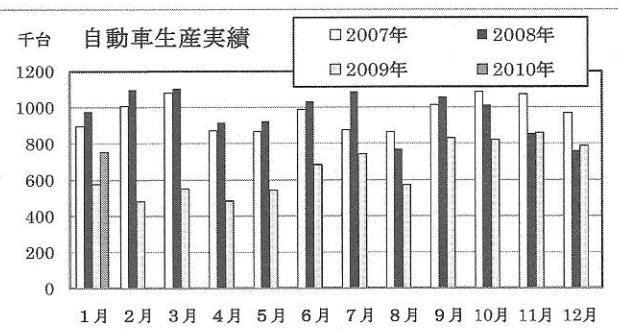
るのではないかとみる。価格に関しては銅・銅合金スクラップは、上海万博における買い出動により急騰する可能性があるが、中国は金融引き締めをまだ続けてくるとみられている。3月5日からの中国全国人民大会(全人代)で金融引き締めと景気対策とともに発表するとの予測から、LMEで下値6,800ドル、上値7,400ドルと激しく乱高下するとみる。

■アルミスクラップは上げを予想

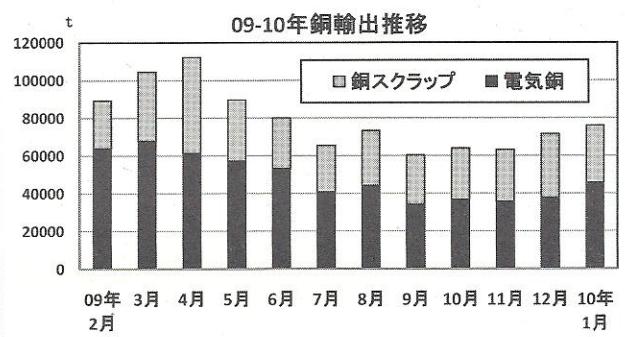
2月後半にLMEアルミは2,100ドル台へ上昇。アルミ新塊ベースの軽圧向け上物スクラップは前月からの下げに伴い15円程度下落した。ただ2次合金向けスクラップは上海シグマ産D12Sの2,300ドル維持やロシア塊の2,000ドル維持を受け代替品需要が急増。折からの発生不足もあり原料ひっ迫から下げきれず、事実上据え置いた。

貿易関連指標では、輸出はアルミ新地金が前月比66%増の220トン、2次合金が同36.6%減の1,988トン、スクラップは同29.6%減の8,815トンとなった。輸入では新地金が同7.1%増の15万5,290トン、2次合金が同1.7%減の7万3,440トン、アルミスクラップは同9.5%増の760トン、合金スクラップは同8%減の4,173トンとなっている。

1月は自動車生産・2次合金生産とも季節要因で前月比ではマイナスとなつたが、前年の同期比からは改善されており、今後も回復に期待できる。しかし、新設住宅着工数の伸び悩み同様、圧延・押出品生産に関してもまだまだ回復は期待できない。貿易統計では国内在庫のひっ迫から輸出減輸入増にはなっているが、内外価格差から積極的に買えず輸入も一桁の伸びとなつた。LME価格については米中の金融引き締め、ギリシャ問題も乗り越え、未だ2,000~2,100ドル台で推移している。今後もこの水準を維持するものとみる。アルミスクラップに関しては、軽圧向けスクラップは5~10円下げる要素があるものの、2次合金スクラップに関しては前月同様、国内原料はほとんど無いに等しい。また上海シグマ、ロシア塊等の輸入塊も値下げの要因が見当たらないことから原料争奪戦が継続し、3月後半にかけて5~10円の上げを予想する。



出典 日本自動車工業会



We Can Return All Metals!

ニッケル・コバルト・インコネル・インコロイ・タンクステン・チタン  
モリブデン・ジルコニウム・タンタル・ビスマス・ニクロム・ハイス  
ステンレス・特殊金属 国内・輸出入

センバ株式会社

本社 大阪市西淀川区中島2-2-62  
電話 06-6476-5633  
FAX 06-6476-5663  
E-mail info@senba-corp.co.jp  
URL http://www.senba-corp.co.jp

ISO 14001 2004